

追悼のこぼ

象“トシコ”さんへ

あなたは、昭和38年（1963年）10月23日、6年間住み慣れた堺市大浜公園動物園からご縁があって仙台市八木山動物公園に贈られ、今日まで48年間仙台市民の皆様に可愛がられ愛嬌をふりまき、堺と仙台の友好の礎としての役目を果たしてこられました。

しかしながら、去る、平成24年7月27日朝、八木山動物公園の職員の皆様の全力を尽くされた介護に見守られながら、59歳の生涯を立派に全うされました。

ここに、堺市民を代表して追悼の言葉をお贈りします。

顧みますと、昭和32年（1957年）10月“花まつり”の主演として堺水族館付設の動物園に来られてから、あなたは多くの堺市および近隣市町村の子どもたちのアイドルとして愛嬌をふりまき、喜ばせ、私達を元気づけてこられました。

その後、昭和36年9月16日、第二室戸台風で堺水族館をはじめ動物園の園舎が被災し、折からの臨海工業地帯の開発で再興の環境が厳しくなったことを受けて、仙台市立動物園の自然動物園計画に応じて仙台市とのご縁を結ばせていただきました。

堺市を発つ時、象舎の前で地元の市（いち）小学校と英彰（えいしょう）小学校の児童による写生会に快く応じられたその清々しい姿は『堺市史』続編第3巻428頁に記録として納められました。堺市民は永久にあなたのことを忘れないでしょう。

また、あなたの養子縁組のお礼として仙台市民の皆様より“しだれ桜”と“萩の花”の苗木が堺市民に贈られました。それらは、堺市立公園墓地の納骨堂の前にて健やかに育ち季節の花盛りが、今なお、堺市民に感動を与えてくれています。

平成17年10月15日、あなたが堺を発ってから40年後、第32回「堺まつり」に「仙臺すずめ踊り連盟」の皆様をお迎えし、“仙臺すずめ踊り”を絆として仙台市民の皆様と堺市民との交流が始まりました。今では、それぞれのまちの誇りを知る「仙台・青葉まつり」と「堺まつり」を交流の機会と位置付け、相互に訪問参加して強い絆として結ばれるまでになって参りました。

あなたが、堺を発つ時に快く小学生の写生に応じられた英彰小学校は、慶長5年（1600年）仙台城築城のために馳せ参じた堺の石工のまち石屋町および石切町を校区に持つ小学校であり、市（いち）小学校は、現在、“堺すずめ踊り連盟”が活動の拠点としており、あなたとの奇しきご縁を感じております。

昨年7月25日、仙臺すずめ踊り連盟の幹部の方々と「東日本大震災」被災のお見舞いにお伺いした時、ご案内いただいた遠藤源一郎園長様より震災後不安な日々をおくられ、食欲も少し落ちている旨お聞きして心配をしておりました矢先の訃報でした。

あなたが在園48年の永きにわたり培って来られた堺と仙台の友好の礎は、今後、私たちが“すずめ踊り”を絆として引き継いで参ります。どうか、心安らかにお眠りください。

平成24年8月19日

堺すずめ踊り協賛会 会長 葛村和正
堺すずめ踊り連盟 会長 中島 豊